

ルール改正

必至事項

- 1、 ホールドからのスタート。
- 2、 ドントムーブ・レディーゴーからレディー・ゴーにする。
- 3、 ダブルエルボーアップはノーカウントとする。
- 4、 スタート時、エルボーアップして外れた場合はファールを科す。
- 5、 ワーニングは一回出したら消えることはない。
- 6、 選手のスタート時、手先で外れたり手がめくれたりした場合
(攻撃的に攻めた場合はストラップ) 主審、サブは話し合い選手に対してファールかストラップかを判断して試合を進めていく。この時、主審とサブは台から離れて選手に対して会話が聞こえないようにする。
- 7、 相手選手をファールにするために故意に行った行為であることが明らかな場合は相手ではなく自分にファールを科す。例えばエルボー・パッドから外に押し出す行為
- 8、 主審はグリップと言ってから手を握る。その前に選手間で決まったストラップスタート、レフリーズグリップスタートを申告出来る。(あくまでグリップコール前、レフリーから聞くことも禁止)
- 9、 主審のグリップコール後30秒経過してもセットアップが決まらなければレフリーズグリップとする。
(グリップコールより10秒は自由に残り20秒で主審が決める)
- 10、 セットアップ時、相手選手の為にセットアップが決まらない場合はワーニングを科す
(同位箇所3回コールしても直さない場合)
- 11、 クロスオーバーセンターファール。選手の肩はセンターラインを越えてはならない。
- 12、 ペグ(グリップバー)を離す。ワーニングを科すがそのまま競技は続行。しかしペグを離すことにより攻撃を有利に作用した場合はファールとする。
- 13、 ストラップの巻き方で手首付け根1インチ以内で巻く。主審はストラップのアップ、ダウンを必ず聞く。

再確認事項

- 1、 競技台に対して、ショルダーを平行にする。
- 2、 主審とサブは同じ動作をする(ワンファール、ツーファール
レフリーズグリップ、ウィナー)
- 3、 主審、サブは試合終了した時は手で押さえてストップコールをする。
決して台を叩かない。ファール時も同じとする。
- 4、 サブは主審に対して、センター、リスト、高さを手で教える。
- 5、 レフリーは選手に対して会話もしくは応援を禁止する。
- 6、 レフリーズグリップの再確認
- 7、 デンジャラスポジション。上腕二頭筋付け根より下がった場合、主審、サブはショルダーとコールして上体を上げさせる。二回コールで戻らなければファールを科す。一回のコールで戻せば累積コールにはならない。(ジュニアレベルは一回でファール)